

# 2003年度大学予算について

財務部 経理課

ここ数年、大学を取り巻く環境はとみに厳しさを増しており、どの大学も教育改革や研究の高度化を推進して、特色を出すことに努めています。本学もかねてよりカリキュラム改革や大学院教育の拡充などさまざまな制度改革に取り組んできました。2002年度には、今後の教育研究活動展開の拠点となる学生会館等の整備にとりかかるとともに、リエゾンオフィスや学生支援センターの設置等を通じて活動支援の枠組みづくりを進めました。

2003年度はこれらに加え、専門職大学院および新学部・学科等の開設準備をはじめとして、建学の精神に基づく特色ある教育プログラムの開発、国際的水準を見据えた研究支援体制の抜本的再構築、産官学連携のさらなる推進といった戦略的課題に対して全力を傾注します。また、教員の増員、情報システムの充実、広報活動の強化等についても重点的に取り組みます。2003年度予算は、これらの優先的課題に十分配慮しながら、限られた財源を効率的に配分すべく編成しています。

## 収支予算について

収入の部では、最も大きなウェイトを占める学生生徒等納付金が、在学生に係る学費の漸増はあるものの新入生学費の据え置きや入学定員の減少により241億8千万円と、前年度に対して3億3千万円の減収となる見込みです。これ以外の収入についても、予算編成方針にもとづき確実に収納が見込めるもののみを計上しており、総じて減収となります(主な増減理由は表1に注記)したがって、帰属収入合計は294億3千万円で、前年度予算に対して12億円の減収となっています。

第2号基本金取崩額は大規模な建設工事や研究装置等の取得資金に充当するものです。その内訳は学生会館の建設資金40億円、情報メディア施設の建設資金4億円、研究室棟の建設資金6億円などです。

工学部の京田辺校地移転から10年目となり、機器備品の備却期間完了にともなって多額の一括除却が発生します。新町校地では新教室棟建設により漏水館等を解体します。これら固定資産の減少額を当期固定資産除却額として21億9千万円計上しています。

借入金収入1億円は学校債の発行によるものです。特定支出準備金取崩額の内訳は、情報メディア施設の建築資金として過年度に受入れたローム株式会社よりの寄付金5億円のほか、21世紀COEプログラム研究費の財源として全学教学充実基金の準備金4千万円、リトリートセンター整備資金として唐崎ハウス売却

資金6千万円などです。

収入の部合計は379億円となり、前年度予算に対して42億3千万円の増加となる見込みです。

支出の部では、人件費で、教員充実計画にもとづき実質増員が可能となる予算の増額措置を図っています。また社会保険の総報酬制導入に伴う所要額の計上や、人件費に含まれる退職給付引当金繰入額が新規採用者数の増加と退職給付引当金引当率の5%引上げに伴い増加するなどにより、総額では142億2千万円と、前年度比4億円の増加となります。

事業費は、表2では教育研究経費、管理経費、施設関係支出、設備関係支出に仕訳されていますが、全体では対前年度58億3千万円増の総額207億8千万円を計上しています(事業別予算額は表2参照)。本年度も多くの新規事業に取り組みますが、その一方で経常的経費については前年度予算を基準として計上し、管理経費については一部の重点項目を除いて極力節減を図るものとしています。建設事業としては、学生会館、クラーク記念館(以上、今出川校地)、新研究室棟(新町)、ローム記念館・情報メディア館および交隣館(京田辺)、外国人ゲストハウス(岩倉)、リトリートセンターの多目的屋内運動施設、更衣室およびシャワー棟(北小松)などの施設整備を行います。

徴収不能引当金繰入額6千万円は、学費および学

費貸付金の回収不能額に対する引当金に繰り入れる額です。繰入金には、新たに高等学校に対して情報センター棟(仮称)建設資金の法人内資金調達を行う額5億5千万円を計上しています。

除却する固定資産のうち取替更新を上回る除却額は基本金処理として翌年度に繰り延べるため、翌年度基本金組入額繰延額として3億6千万円を計上します。

第2号基本金組入額の内訳は教学施設整備資金12億円、情報基盤整備資金2億円、研究装置整備等整備資金1億円、第3号基本金組入額の内訳は同志社大学奨学金基金2億5千万円、国際交流基金2億円であり、いずれも理事会で承認された組入計画に基づくものです。

支出の部合計は389億5千万円となり、前年度予算に対して65億1千万円の増加となります。

収支差額の部では、収入の部合計から支出の部合計を差し引いた当年度消費収支差額が10億5千万円の消費支出超過となりますが、消費支出準備金を取崩すことにより、最終的には6千万円の消費支出超過にとどまる見込みです。

(本文中の金額については1千万円未満を四捨五入しています)

## 主な新規事業

(単位：千円)

教育研究条件の整備充実	
外国語基礎能力到達度テスト等の実施	7,370
旧分類資料および従来資料の整理	40,320
学術情報システムの開発	150,000
WEB対応科目登録システムの開発	13,530
CD-ROM版シラバスの作成	6,420
第三者評価および学生授業評価の実施	11,320
21世紀COEプログラム研究費	35,000
研究所部門研究費の充実	10,800

就職活動支援	
東京オフィスの開設	27,940
就職支援システムの開発	9,390
インターンシップ事業の充実	4,630

施設設備の更新	
尋真館トイレ改修	60,060
至誠館冷暖房設備更新	53,550

国際交流推進	
留学生受入支援奨学金および留学生支援チューター制度の新設	4,280
国際学術交流事業の実施(シンポジウム等)	4,470

企画広報活動の充実	
大学案内の企画制作	11,280
学部大学院等の開設予告広報	50,000

教育研究環境の整備充実	
マルチメディア教室、情報処理演習室、オープン利用室の整備	96,200
図書館施設設備の整備	31,590

学生生活支援	
学生寮の改修	103,000
障がい学生の支援(パソコン整備等)	9,570
文系公認団体活動の支援(随行旅費補助)	4,500
体育施設設備の整備	27,200

建設事業(本年度支予算額)	
学生会館の建設(今出川)	5,441,040
交隣館の建設(京田辺)	259,180
ローム記念館・情報メディア館の建設(京田辺)	1,499,440
研究室棟の建設(新町)	752,920
クラーク記念館の保存修理	220,000
今出川図書館、寧静館のバリアフリー整備	23,940
学内ネットワーク設備の更新	214,550
外国人ゲストハウスの建設(岩倉)	110,000
リトリートセンターの整備	57,820

情報処理環境の整備充実	
情報システムのリリース	473,710
e-Learning環境の整備	22,050
テレビ会議システムの更新	18,680

# 2003年度収支予算書(表1)

2003(平成15)年4月1日から2004(平成16)年3月31日まで

(単位:千円)

科目	収入の部			主な増減理由
	予算	前年度予算	増減	
学生生徒等納付金	24,181,810	24,512,150	330,340	新入生学費の措置、臨時定員の段階的解消に伴う入学定員減少
手数料	1,201,100	1,201,100	0	
寄付金	121,200	636,840	515,640	指定寄付金を計上。前年度は情報メディア機あて寄付金あり
補助金	2,525,800	2,430,800	95,000	クラーク記念館保存修理事業に対する文化庁文化財補助金等
資産運用収入	327,200	380,920	53,720	運用利率低下
資産売却差額	0	0	0	
事業収入	108,600	116,270	7,670	
雑収入	536,350	915,480	379,130	定年退職者の減少に伴う退職金財団交付金収入の減額
繰出金	277,090	326,410	49,320	過年度の法人内資金調達の返済額
分担金	155,230	116,260	38,970	
繰戻収入合計	(29,434,380)	(30,636,230)	(1,201,850)	
第2号基本金取崩額	5,053,500	5,053,500	3,708,500	大学会館、情報メディア棟等の建設資金に充当
当期固定資産除却額	2,188,920	1,248,770	940,150	工学部移動時の機器備品一括除却、新町校地淡水館等の解体
前年度基本金組入繰延額	483,230	278,970	204,260	旧大学会館解体除却に伴う組入繰延額
借入金等収入	100,000	100,000	0	
当期末未払金	0	0	0	
基本金当年度組入額・未組入額計	(7,825,650)	(2,972,740)	(4,852,910)	
特定支出準備金取崩額	638,470	55,110	583,360	過年度に受入れた情報メディア施設あて寄付金の取崩
収入の部合計	[ 37,898,500 ]	[ 33,664,080 ]	[ 4,234,420 ]	

科目	支出の部			主な増減理由
	予算	前年度予算	増減	
人件費	14,219,480	13,822,230	397,250	教員増員、アルバイトの増雇等、職員の職能開発に伴う研修費、退職給付引当金引上げなど
教育研究経費	9,684,260	9,547,060	137,200	主な新規事業参照
消耗品費他	6,939,400	6,864,860	74,540	
減価償却額	2,744,860	2,682,200	62,660	
管理経費	1,115,630	1,078,960	36,670	主な新規事業参照
消耗品費他	1,050,250	1,012,830	37,420	
減価償却額	65,380	66,130	750	
借入金等利息	129,050	154,860	25,810	借入金残高の減少
資産処分差額	5,860	291,130	285,270	淡水館等の未償却部分
徴収不能引当金繰入額	61,180	47,890	13,290	
繰入金	550,000	0	550,000	高等学校情報センター棟建設資金の法人内資金調達
予備費	200,000	100,000	100,000	規程(備蓄収入の7/1000以上を計上)に基づく
消費支出合計	(25,965,460)	(25,042,130)	(923,330)	
施設関係支出	7,636,430	3,011,220	4,625,210	主な新規事業参照
設備関係支出	2,345,820	1,301,630	1,035,190	主な新規事業参照
翌年度基本金組入繰延額	359,540	483,230	123,690	
借入金等返済支出	589,560	590,160	600	
前期末未払金	0	29,300	29,300	
第2号基本金組入額	1,500,000	1,500,000	0	
第3号基本金組入額	450,000	450,000	0	
第4号基本金組入額	98,500	1,300	97,200	学校法人会計による「恒常的に保持すべき資金の額」との差を組入
基本金組入額・当年度組入額計	(12,979,850)	(7,375,840)	(5,604,010)	
特定支出準備金繰入額	1,550	20,670	19,120	
支出の部合計	[ 38,946,860 ]	[ 32,438,640 ]	[ 6,508,220 ]	

科目	収支差額の部			増減
	予算	前年度予算	増減	
当年度消費収支差額	(1,048,360)	(1,225,440)	177,080	
消費支出準備金繰入額	0	330,970	330,970	
消費支出準備金取崩額	987,590	0	987,590	
繰入取崩後消費収支差額	(60,770)	(894,470)	833,700	
前年度繰越消費収支差額	[ 18,970,090 ]	[ 19,864,560 ]	[ -894,470 ]	
翌年度繰越消費収支差額	[ 19,030,860 ]	[ 18,970,090 ]	[ 60,770 ]	

本年度は大規模な建設事業を遂行するために昨年度に比べて大幅な支出増となります。これに対する資金として、過年度に組入れた第2号基本金、および寄付金を原資とする特定支出準備金を取崩して充当します。  
これでもなお当年度の消費収支差額は10億5千万円の支出超過となりますので、過年度に繰り入れた消費支出準備金を取崩することによって補います。  
この結果、翌年度以降に繰り越す消費支出超過額は、前年度予算に対して6千万円増の190億3千万円となります。

# 事業別予算書(表2)

(単位:千円)

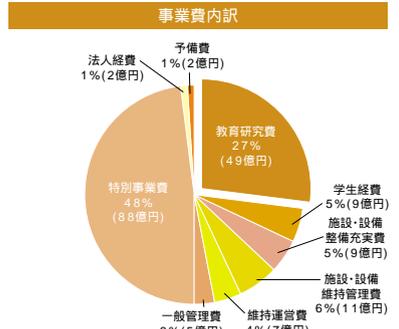
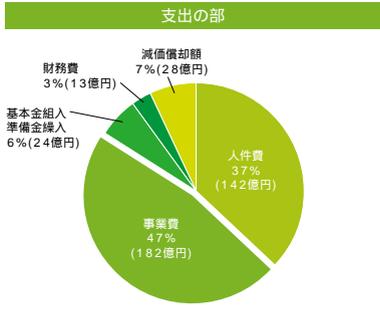
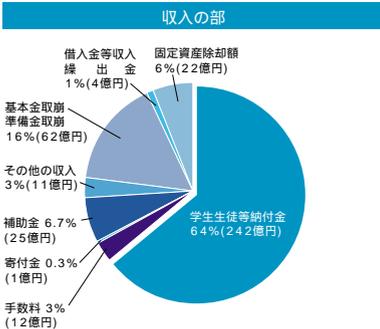
事業項目	予算
人件費	( 14,219,480 )
事業費	( 18,171,900 )
基本金・準備金	( 2,409,590 )
財務費	( 1,335,650 )
減価償却額	( 2,810,240 )
支出の部合計	[ 38,946,860 ]

事業項目	内訳
教育研究費	( 4,842,480 )
研究費	1,414,480
研究経費	128,980
実験実習費	695,550
教育研究援助費	350,770
情報処理教育研究費	957,710
学術情報整備充実費	573,490
国際交流関係費	111,460
入学試験経費	389,170
教学事務運営費	256,870
学生経費	( 859,970 )
奨学援助費	388,620
学生生活助育費	260,740
学費	210,610
施設・設備整備充実費	( 947,600 )
施設・設備維持管理費	( 1,123,730 )
施設・設備等整備充実費	947,600
施設・設備維持管理費	( 699,680 )
維持運営費	699,680
通信費・光熱水費	( 496,670 )
一般管理費	427,140
教職員福利厚生費	69,530
特別事業費(建設事業等)	( 8,777,790 )
法人経費	( 223,980 )
予備費	( 200,000 )
事業費小計	[ 18,171,900 ]

基本金・準備金	内訳
第2号基本金組入額	( 1,500,000 )
教学施設整備資金	1,200,000
情報基盤整備資金	100,000
研究装置設備等整備資金	200,000
第3号基本金組入額	( 450,000 )
同志社大学奨学基金	250,000
国際交流基金	200,000
第4号基本金組入額	( 98,500 )
翌年度基本金組入繰延額	( 359,540 )
前期末未払金	( 0 )
特定支出準備金繰入額	( 1,550 )
基本金・準備金小計	[ 2,409,590 ]

事業項目	内訳
借入金等返済支出	( 589,560 )
借入金等利息支出	( 129,050 )
資産処分差額	( 5,860 )
徴収不能引当金繰入額	( 61,180 )
繰入金	550,000
財務費小計	[ 1,335,650 ]

## 収支構成図



収入の部合計 379億円 (うち繰戻収入 294億円)

支出の部合計 389億円 (うち消費支出 260億円)

事業費内訳計 182億円 (うち教育研究費 49億円)